

第330回 群馬大学アナログ集積回路研究会

講演：白色LEDの現状と今後

講師：久保文雄先生（応用科学学会 副会長）

日時：2017年6月30日（金） 14:20～15:50

場所：群馬大学工学部（桐生キャンパス）3号館509号室（E大教室）

概要：

高効率青色発光ダイオードの発明で、日本人3氏がノーベル賞を受賞したことは記憶に新しい。当時の新聞にはこう書かれている。

『日本は戦後、先ごろ開業50年迎えた新幹線や自動車、家電など「生活に役立つ技術」で奇跡の復興を成し遂げた。

青色LEDは、こうした日本の伝統をも受け継ぐ。科学技術分野で日本の地盤沈下が指摘される中、その底力を示した。』

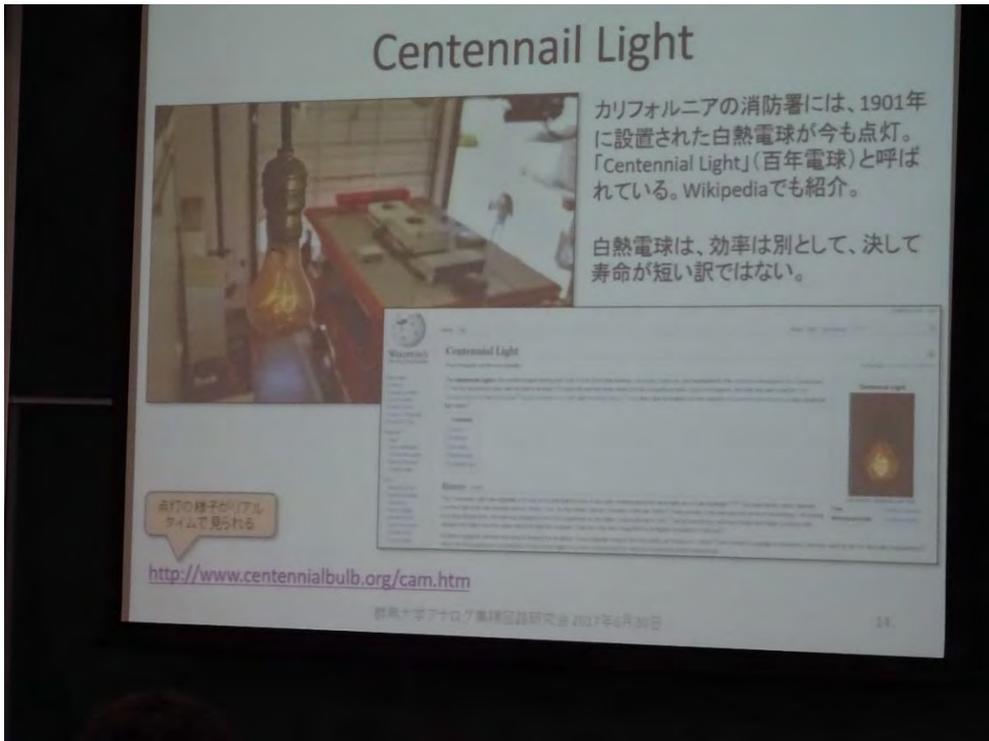
しかしながら、産業面においてその底力は果たして絶対的なものであったのかを検証してみる。

LED: Light Emitting Diode 発光ダイオード

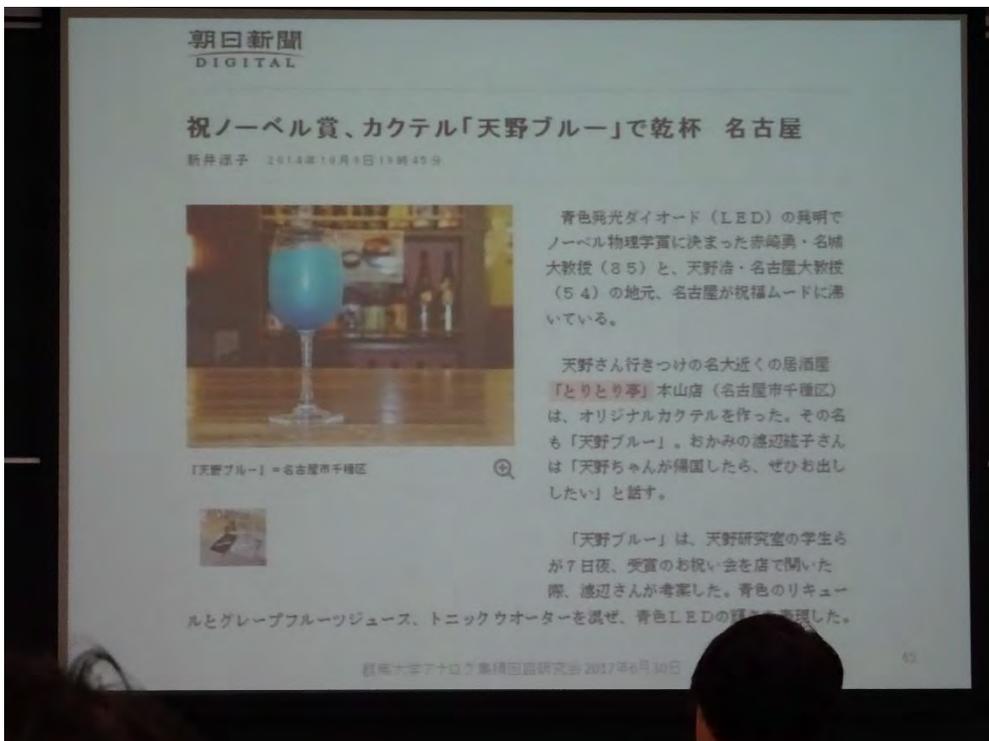








点灯の様子がリアルタイムで <http://www.centennialbulb.org/cam.htm>





- この分野は「**山上更に山有り**」であると思った。

- 次の言葉を思い出す。

「サイエンス(科学)と違って インダストリー(産業)には
クリエイティビティー(創造性)が3種類必要になる。

テクノロジーのクリエイティビティー、

プロダクトプランニングのクリエイティビティー、

マーケティングのクリエイティビティー である。」

ソニー 盛田昭夫氏